

---

# 運命をふたりで変えよう・・・

愛李琉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

運命をふたりで変えよう・・・

### 【Nコード】

N7290C

### 【作者名】

愛李琉

### 【あらすじ】

香澄は、ある日一人の男の子と出逢う・・・その日から運命の物語は始まっていた。

私の名前は、香澄。。。。

面倒な事が大嫌いな中学3年。

そんな性格からか、友達もいない一匹狼だ。

でも、私にとっては  
その方が自由でいい

うわべだけの関係は疲れるから……

もちろん、男にも興味はなかった。

そう……

あの日、あの場所で  
君に逢うまでは。

その日、私は、  
本を借りたくなって放課後に図書室に行った。

誰もいないと思っていたから、なんとなくその時の気分で思いつ切り強くドアを開けてしまった。

そしたら、部屋の中に見た事のない一人の男子がいて迷惑そうにこっちを見てたんだ。

これが、君との出逢いだった……

本を選んでも、

なんだかその男の子が気になって、ずっと見てた。

すると、一瞬目が合った。心臓がドキドキしてるのが分かった。恥ずかしくなった私は、視線を逸らして本を探すフリをした。

でも、胸のドキドキがずっと消えなかったんだ・・・

この時、もう何か感じていたのかもしれない。

その日から、放課後に図書室へ行くのが毎日の日課になった。

本を選ぶ為じゃないよ・・・

君に逢う為に・・・

何回も逢うたびに

二人の距離は、どんどん縮まって行ったよね。

お互いの事を

たくさん話した。

君の名前も知った。

確実に二人は、

惹かれ合ってた・・・

そうだよね・・・？

。。翔。。

この頃、

もう私は、

翔の事が好きだったんだよ。。。

だから、思いきって告白した。。。

そしてOKをもらった。

翔も同じ気持ちだったんだね・・・

すごく嬉しかったよ。本当に好きだったから・・・

この日から

私たちは、恋人同士になったね・・・

付き合って最初の頃は、毎日が楽しくて

幸せだった！

・・・でも、そんなの永くは続かなかったね・・・

月日が経つにつれて

どんどんすれ違いが多くなって、喧嘩が絶えなかった。

そして、いつしか

二人は自然消滅してしまった・・・

失恋の寂しさを

違う恋で隠すようになった私は、いろんな人と付き合った。

でも、心が休まる場所なんて何処にも見つからなかったんだ。

そんな毎日の中で

いつも思い出すのは

翔と過ごした日々の事ばかりで、私にとって君の存在がどんなに大きいモノだったのか、初めて気付かされたの。。。

でもね・・・

もう遅かったみたい

翔には、  
新しい恋人がいて  
私が入る隙間なんて  
少しもなかったから・・・

だから私は、  
二人はこうなる  
運命なんだって。  
自分に  
言い聞かせの。。。。

だけど、  
どうしても、  
諦めることが出来なかった。

だって、  
心の中には  
まだ翔との思い出が  
残ってるから。  
私の中で、  
幸せだった二人が、  
ずっと生きてるから

このまま  
終わらせちゃ、  
いけないって思ったから・・・

もう一度  
逢いに行くことを

決めたの。

約束の日・・・

君はちゃんと来てくれたね。  
少し安心した。

そして、話を切り出そうとした時、  
君が先に話出して  
ちよつと焦つてた。

「あのさ・・・」

「う、うん・・・」

何どうしたの？」

「今さら、無理な話かもしれないけど・・・もう一度、俺と付き合い  
つてくれないか・・・？」

「えっ・・・？でも、彼女いるって聞いたんだけど・・・」

「別れたんだ。やっぱり俺にはお前しかない」

「うん！私も翔しかいないって思ってた。」

「今度は、ずっと一緒にいような！」

「うん！」

「ずっと一緒だよ」

こうして、  
香澄と翔は結ばれた

一度は、  
諦めた大好きな人との恋・・・

でも、  
想い続けていれば  
気持ちは、  
必ず相手に伝わる・・・

そう  
信じていたから。  
二人は  
また一緒になれた・・・

運命は、  
自分たちの手で  
変えることができるんだ・・・



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7290c/>

---

運命をふたりで変えよう・・・

2010年12月31日12時56分発行